

おおやま夢通信

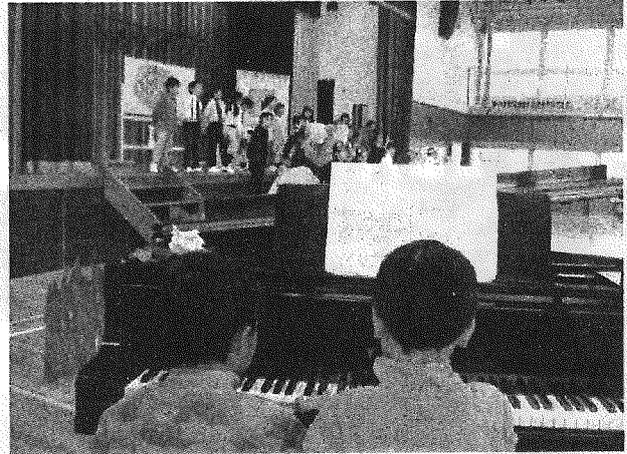
間近に迫った学習発表会!

今月は2週続けて〔6日(月), 14日(火)〕台風の影響で、臨時休校となってしまいました。保護者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしました。学校では2度目の台風の時に、吹き付けた雨水が少しだけ壁の隙間を伝って廊下にしみ出すということがありましたが、それ以外の被害はありませんでした。何よりも、子どもたちが台風による被害に巻き込まれず安全・安心に過ごせたことに、ほっと胸をなで下ろしました。

さて、11月1日に開催する学習発表会が間近に迫ってきました。今年は、2日間の臨時休校により、練習計画にも大幅な狂いが生じてしまいました。それでも、子どもたちは残された時間を有効に使いながら本番に向けて熱心に練習を行っています。当日は8時30分からの開催となります。是非、家族揃って足を運んでいただき、子どもたちの活躍に大きな声援をおくってくださるようお願いいたします。



【6年生の劇「クラリーナ国の陰謀」の練習】



【1年生の劇「サラダでげんき」の練習】

【各学年の発表内容紹介】

<p>1年 劇「サラダでげんき」 国語科の授業で学習した「サラダでげんき」を劇で表現します。主人公りっちゃんのサラダ作りに、様々な動物がアイデアをあげます。さてどんなサラダが出来上がるでしょう。</p>	<p>2年 音楽発表 「ドラえもん和世界旅行」 ドラえもん和世界旅行をしながら、音楽科の授業で学習したいろいろな国の音楽を発表します。心を一つにした歌や踊り、合唱をお楽しみに。</p>	<p>3年 劇「どんぐりと山ねこ」 宮沢賢治の童話「どんぐりと山ねこ」をモチーフに、子どもたちがそれぞれのグループの得意技を披露します。さて、どんな得意技が出てくるでしょう。</p>
<p>4年 ミュージカル「大工と鬼六」 有名な日本の昔話「大工と鬼六」をミュージカルで発表します。衣装や舞台装飾等を最小限にとどめ、せりふと歌、そして28名の心を一つにした身体表現で「大工と鬼六」の世界を作り上げています。</p>	<p>5年 群読・ダンス「十カ金の剛石」&「GUTS」 5年生の学習発表会のテーマは「静と動」です。「静」では宮沢賢治の詩の世界を群読で表現します。後半は一転して「動」を嵐の曲にあわせてダンスで表現します。</p>	<p>6年 劇「クラリーナ国の陰謀」 6年生は、念願だった「劇」を発表します。「人と人のつながり」というテーマを、一人一人が個性豊かな役者になり切って、演技だけではなく、歌やダンスで表現します。</p>

異学年・異年齢交流

大山小学校では、ほぼ1ヶ月に1度「ふれあいタイム」という活動時間を設けています。

この活動は、縦割り清掃班(学年の枠をはずしたグループ)が、通常一斉清掃をしている時間を利用して楽しく遊ぶというものです。

右の写真は、10月22日に行われた「ふれあいタイム」の時間の様子です。わずか15分間の活動ですが、子どもたちが楽しそうに活動する様子が伝わるのではないのでしょうか。活動の様子をよく観察していると、高学年の子どもたちが、低学年の子どもたちも楽しく参加できるような細やかな配慮をさりげなく(低学年の子どもたちに気付かれないように)していることが分かります。このような活動を通して①「人間関係を高める力(活動を通してお互いに協力し合うことができる力)」や②「人を思いやる心」そして、③「自己存在感・自己有用感(自分は人から認められ、必要とされているという意識)」を育てていきたいと考えています。



【ふれあいタイムの様子から「ハンカチおとし」】



また、本校では異学年の交流だけではなく幼稚園との交流(異校種交流)も年間の活動計画の中に位置付けて行っています。左の写真は10月8日に5年生が幼稚園の年長組さんと交流したときの様子です。5年生の子どもたちも年長組の園児も目を輝かせて活動していました。左の小さな写真は、幼稚園の子どもたちが学習発表会の練習を見に来ている様子です。この活動は、年間の計画に位置付けられて



いるものではありませんが、幼稚園の子どもたちが、これから自分たちが行う「発表会」に向けて「お手本にしたい」という願いから実現したものです。突然の来客に、練習していた2年生は少し驚いたようですが、いつにも増して張り切って練習に取り組んでいました。

もう一つの交流!

特設合唱部は、大玉村の文化祭に毎年参加しています。今年は玉井小学校の合唱部と合同で、合唱コンクールの課題曲「ゆうき」を発表しました。10月11日には、この日の発表に向けて、玉井小学校の合唱部が本校に来て合同練習を行っており、その成果が生かされ、素晴らしい発表ができました。

大玉村では、「おおたま学園」という仮想の学校をつくり、村内5つの幼稚園、小学校、中学校の連携を推進していますが、本校でも幼・小・中の交流を日常的に、そして様々な形で広がりとお深まりのあるものにしていきたいと考えています。

